

高感度金属検出機能を生かした 新たな応用例

食品市場において、賞味期限が重要なファクターになっています。
脱酸素剤(鉄系)は生産者に長く愛用されていますが、鉄成分が大きく、
金属検出機を通す際の大きな障害になっています。

現状は脱酸素剤が入っているか否かの検査を金属検出機で行い、
同時に金属異物の検出をするのは不可能な状態にあります。

そこで、エー・アンド・デイが開発した高感度金属検出機の
新たな可能性をご提案いたします。



金属検出機(脱酸素剤仕様)
AD-4971-E



AD-4971 脱酸素剤仕様

- **脱酸素剤**の有無の検査と金属異物検出の同時検査
- 袋の中の**脱酸素剤**の位置に左右されない検査
- **脱酸素剤**が入っている状態で、温度影響を受けない検査

脱酸素剤入りの製品検査に必要な検出感度
■ 鉄・ステンレス ■ $\phi 2\text{mm}$ (0.033g)
※脱酸素剤の重量 = 1g以上

モデル	AD-4971-3510-E	AD-4971-3517-E	AD-4971-3525-E
センサーヘッド開口部寸法	幅350×高さ100(通過高さ80)	幅350×高さ170(通過高さ150)	幅350×高さ250(通過高さ230)

単位mm

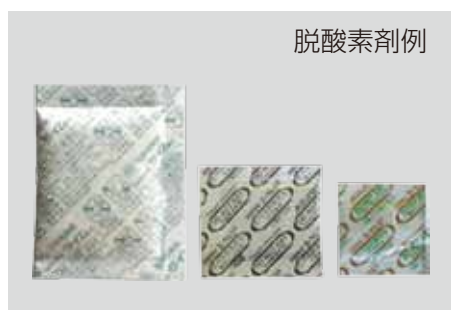
脱酸素剤封入検体例

海苔

冷蔵食品(ピザ)

冷蔵食品(チキンナゲット)

お菓子



注)実際の金属異物はテストピースでは表現できません。
実際の異物の重量を、電子天びんで計測することをお勧めします。
エー・アンド・デイでは、様々な天びん、はかりもご用意しておりますので、
詳しくはお問い合わせください。